

子どもの口内炎

口の中の粘膜が炎症を起こし、表面が深くえぐれてしまうのが口内炎です。多くの場合かなり痛みを伴います。ヘルペスなど、ウイルスが原因のものは血液検査などでわかりますが、ごく一般的な口内炎の多くは原因がよくわかっていません。

子どもには、ヘルペス性口内炎がよくみられます。ただその場合口の中がただれたり、炎症が口の中だけでなく顔などにも出来たり重い症状がでることが多い傾向があります。

ステロイド系の薬もあまり効かない場合は、一般的な口内炎の可能性が高いです。再発を繰り返す事は大人では良くありますが、子どもは、ベーチェット病など、より深刻な病気の初期症状の可能性もあります。

局所的で、他の目立った症状も無ければ成長に伴って自然に治る場合もありますので、口の中の清潔を確保しよう心に掛けてください。

大阪大学歯学部教授（口腔外科）由良義明先生
（出典）朝日新聞2009年

11月20日朝刊

乳歯幹細胞研究バンク

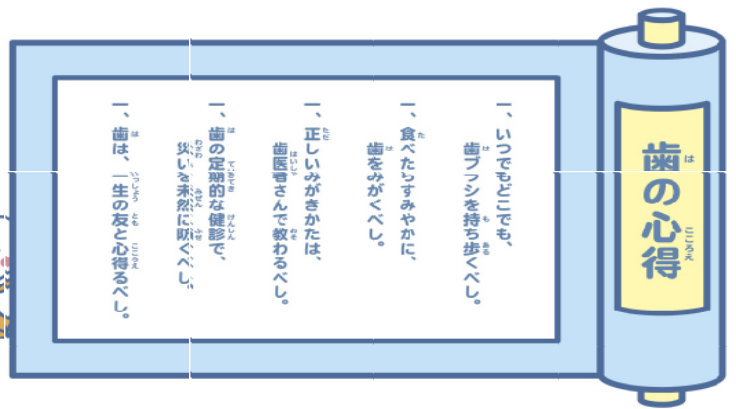
名古屋大学医学部内に集めています。この細胞は、骨髄や臍帯血の幹細胞研究バンクが幹細胞に比べて、細胞の増殖能が高い、採取

最近、乳歯の中に強力な幹細胞が存在することが発見され注目を

を利用するため、受精卵から作られる胚性幹細胞（ES細胞）に比べて倫理的な問題も少ないなどの長所があります。

（名古屋大学医学部付属病院インプラント科ホームページより）

療や再生医療で重要な



お口とカラダ

妊婦が重篤な歯周病にかかっていると、早産や低体重児出産になり易い可能性があることが判明しています。

しかし、妊娠中は歯ブラシを口に入れるだけで気持ちが悪くなり、きちんと歯を磨く事が難しかったり

ホルモン分泌の変化により歯肉が炎症を起こしやすくなったりしています。その様な場合は液体歯磨きや洗口液を活用して、効果的に口腔ケアを行うとよいでしょう。